

事例（2）

○ 国有林林道事業

丸太組土留工（岡山県新見市 岡山森林管理署）



※ 林道開設の際に発生する土砂を路体の盛土に利用することで、残土の発生を抑制するとともに、土留工の材料として現地発生木材の有効利用を図りました。

○ 国有林治山事業

丸太残置型枠工（山形県鶴岡市 庄内森林管理署）



※ 間伐材を用いた丸太残存型枠を使用することで、コンクリート打設後の型枠の取り外し作業の省力化とともに、周辺の景観との調和及び間伐材の有効利用を図りました。